

協会誌編集委員会 査読論文小委員会

論文投稿規定の改訂のお知らせ(一部修正)

本誌「リハビリテーション・エンジニアリング」は年4回発行し、協会員・購読会員に送付しております。1986年10月の創刊号発刊以来、通巻100号を超え、継続発刊中です。本誌は、特集・報告・投稿論文等により構成されています。昨今、投稿論文の投稿数も増加傾向にあり、査読の精度を高めより有意義な研究論文を社会に発信するため、編集委員会内に査読論文小委員会を発足する運びとなりました。

つきましては、委員会名称の変更及び、ダブルブラインドを明確化し、投稿×切期日をもうけるために、投稿規定を2023年10月8日付で改訂しました。全号にて掲載いたしました。新規規定内の整理にあたり、文言修正に不足箇所がありましたので、再度お知らせいたします。お詫びして訂正いたします。

なお、本投稿規定の**施行は2024年4月1日**からとなります。

主な改訂内容は以下の表の通りです。

新旧対比表(下線部分が主な改訂箇所です)

新(改訂後)	旧(改訂前)
2 原稿の種類と内容 <u>原稿の種類は研究論文、研究報告、技術・開発・活用報告で、査読付き論文とする。</u> 2.1 研究論文	2 原稿の種類と内容 2.1 研究論文
2.3 技術・開発・活用報告 <u>①リハビリテーション工学に関連する機器開発や計測手法等についての技術的な報告。</u> <u>②障害当事者のリハビリテーション工学に関連する機器の活用や実践例の報告等。</u> (重複記載があったため、以下削除し、整理した)	2.3 技術・開発報告 リハビリテーション工学に関連する機器開発や計測手法等についての技術的な報告。リハ工学カンファレンス、福祉機器コンテストにおいて発表された内容を発展させた投稿も対象とする。ただし、既発表と全く同一内容の投稿は受理しない。 また、査読委員会の判断にて、原著論文として推薦・掲載することもある。 その他、編集委員会よりの依頼原稿にかかる規定は別途定める。
4 投稿原稿の審査・採否 4.1 <u>論文の審査</u> 投稿された原稿は種類によらず原則2名の査読者(ピアレビュアー)が行う。 <u>査読はダブルブラインド(投稿者・査読者双方は互</u>	4 投稿原稿の採否 新設

<p><u>いの所属・氏名等が未知)で行う。そのため、個人が特定されるような情報を査読の段階では記入しないこと。例えば、研究倫理審査委員会の名称, 利益相反の企業名, 過去の自分の研究論文の引用などに注意すること。これらの情報は査読が終り, 掲載が決定した後の印刷原稿を提出する際に, 具体的な情報に差し替えてもらう。</u></p> <p><u>4.2 論文の採否</u></p> <p><u>投稿原稿は、他誌に既発表でないことを要件とする。ただし、本協会・支部が主催するカンファレンス・研究会等(リハ工学カンファレンス、福祉機器コンテスト、支部の研究会など)および他学会における口述・ポスター発表などで既発表のものについて、内容を発展させた投稿は可とするが、当該既発表と全く同一内容の投稿は受理しない。</u></p> <p><u>投稿原稿の採否は投稿規定に基づき本誌編集委員会に属する査読論文小委員会にて決定します。また、原稿の種類の変更をする場合がある。</u></p>	<p>投稿原稿は、他誌に既発表でないことを要件とします。投稿原稿の採否は査読規定に基づき本誌編集委員会に属する査読委員会にて決定します。また、場合によっては原稿の種類の変更をお願いすることがあります。</p>
<p>5 研究倫理 (該当する場合のみ)</p> <p>.....</p> <p>また研究倫理委員会で承認を受けた場合、所属先を伏せてその旨を明記すること。例)「〇〇大学研究倫理委員会の承認を受けた」等とし、所属先は論文採択後に記入すること。</p>	<p>5 研究倫理(該当する場合のみ)</p> <p>.....</p> <p>また倫理審査委員会等の承認を得ている場合はその旨を明記してください。</p>
<p>6 利益相反</p> <p>利益相反事項がある場合、具体的な企業名等は記載せず、その旨を本文中に記載すること。例)「実験資材は〇〇社より提供を受けた。」等とし、具体的な企業名等は論文採択後に記入すること。</p>	<p>6 利益相反</p> <p>利益相反事項がある場合、本文中に記載してください。</p>
<p><u>7.2 表紙(1ページ目)</u></p> <p><u>原稿には、原稿の種類、表題名、筆頭著者・共著者すべての氏名と所属、連絡先(メールアドレス等(掲載記事への記載は任意))を明記した表紙をつける。</u></p> <p><u>7.3 要旨(2ページ目)</u></p> <p><u>和文・英文双方で、キーワード(5語以内)、要旨(概ね300字以内、英文200語以内)を記す。</u></p>	<p>新設</p> <p>7.2 要旨</p> <p>和文・英文双方で、見出し語(5語以内)、要旨(概ね300字以内、英文200語以内)を記す。</p>

<p>7.4 本文(3 ページ目以降)</p> <p>.....</p> <p>なお、見出しは行の端から書き出し、本文は行を変え、<u>一マス空けて書き出すようにする</u>。さらに小さい見出しが必要な場合は順に(1),1)のようにする。<u>本文から投稿者・投稿者の所属先等を推察されないよう配慮する</u>。</p>	<p>7.3 本文</p> <p>.....</p> <p>なお、見出しは行の端から書き出し、本文は行を変え、<u>一マス空けて書き出すようにして下さい</u>。さらに小さい見出しが必要な場合は順に(1),1)のようにして下さい。</p>
<p>8 原稿の提出</p> <p>当協会 HP 上の投稿書式を用い、執筆原稿は、<u>「投稿論文表紙」と「投稿論文チェックリスト」を添えて</u>、編集事務局宛に電子メール添付で送付する。<u>なお、「倫理チェックリスト」の提出は任意とする</u>。投稿の締め切りは年 4 回とし 1 月、4 月、7 月、10 月の各月末日とする。</p>	<p>8 原稿の提出</p> <p>当協会 HP 上の投稿書式を用い、執筆原稿は、編集事務局宛に電子メール添付で送付する。</p>
<p>9 掲載料</p> <p>原稿掲載料は掲載号発刊時に筆頭著者が会員である場合、刷り上がり 1 頁あたり 3000 円、それ以外は 5000 円を頂きます。</p>	<p>12 掲載料</p> <p>原著論文(研究論文、研究報告)掲載料は掲載号発刊時に筆頭著者が会員である場合、刷り上がり 1 頁あたり 3000 円、それ以外は 5000 円を頂きます。</p>
<p>11 異議申し立て</p> <p>原稿に関して異議がある場合は、<u>編集委員長宛に申し立てることができる</u>。 (送付先 E-mail: journal@resja.or.jp)</p>	<p>新設</p>

その他、「口語体」から「文語体」に変更など、軽微な修正を行っています。

本投稿規定の改訂に伴い、論文投稿の際には「投稿論文表紙」と「投稿論文チェックリスト」を添えて提出してください。なお「倫理チェックリスト」の提出は任意となります。

新投稿規定開始後の投稿締め切りは、1 月、4 月、7 月、10 月の各月末日となります。お間違いのないようお願いいたします。詳しくは、日本リハビリテーション工学協会 協会誌 HP をご覧ください。

これまで通り、多くの皆様のご投稿をお待ちしております。

2024年1月吉日 リハビリテーション・エンジニアリング

協会誌編集委員会 委員長 徳田良英

協会誌担当理事 植田瑞昌・小島みさお

協会誌編集委員会 事務局長 松田健太

本件の問い合わせ先: journal@resja.or.jp